

Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	国際教養学科				
科目名称	経済学				授業形態	講義			
科目コード	512130	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブラーニング	○
担当教員名	土田 博							ICT活用	
授業概要	<p>経済学を学ぶ目的は、現実の経済の理解や分析だけでなく、広く見識を養うための基礎を身につけることにあります。ここで見識とは、論理的でバランスの取れた考えと、問題に対する広い視野を指します。経済学はこうした見識を養うためのひとつの素養であり、皆さんが社会人として特にビジネスの世界で生きていく上で不可欠の素養です。そのような観点から、就職活動真っ盛りの2年生前期の開講といたしました。タイムリーな経済情報等も随時授業の中に取り入れ、就職面接等にも役立つようにしていきたい。</p>								
関連する科目	「経営学」 「商法・会社法」								
授業の進め方と方法	<p>テキストをしっかりと学ぶ。そしてタイムリーな経済情報等も随時授業の中に取り入れ、就職面接等にも役立つようにしていきたい。</p> <p>アクティブラーニングについて：必要に応じてグループで協議し随時発表してもらう予定です。</p> <p>ICTの活用について：特にICTを活用した授業の実施を予定してはいません。</p>								
授業計画【第1回】	なぜ経済学を学ぶのか : 経済学の必要性について学ぶ								
授業計画【第2回】	需要曲線と需要の弾力性 : 財の価格と需要量について学ぶ								
授業計画【第3回】	供給曲線と供給の弾力性 : 財の価格と供給量について学ぶ								
授業計画【第4回】	市場均衡とその変化 : 需要と供給の一致とその変化について学ぶ								
授業計画【第5回】	市場の効率性と市場の失敗 : 市場の失敗としてどのようなケースが考えられるのか学ぶ								
授業計画【第6回】	ゲーム理論 : 新しい理論としてのゲーム理論についてその概要を学ぶ								
授業計画【第7回】	GDPの概念とGDP統計 : マクロ経済の統計について必須の基礎教養を学ぶ								
授業計画【第8回】	総需要・総供給とマクロ経済の均衡 : 三面等価の意味を学ぶ								
授業計画【第9回】	家計の消費 : ケインズの消費関数の意味を学ぶ								
授業計画【第10回】	企業の投資 : 投資関数の意味を学ぶ								
授業計画【第11回】	国民所得の決定と乗数理論 : ケインズの乗数理論について学ぶ								
授業計画【第12回】	財政政策 : IS-LM理論について学ぶ								
授業計画【第13回】	金融政策 : 金融政策の効果について学ぶ								
授業計画【第14回】	インフレとデフレ : それぞれの意味およびインフレ期待について学ぶ								

授業計画 【第15回】	まとめ
授業の到達目標	経済の基礎理論を理解し、現実の経済の動きについて教科書的説明は出来るようになる。【知識・理解】 その知識によって現代社会が有する種々の課題を理解できるようにする。【汎用的技能】 経済マインドを有することにより、より適切な判断を可能とする。【態度・志向性】
学修成果との関連	1.自ら考える能力を有する。／3.現代社会に関する基本的知識を有する。
授業時間外学習【予習】	テキストをしっかり読み込むこと。新聞に目を通し、経済の動きに関心を有すること。 1時間程度必要とする。
授業時間外学習【復習】	授業でまなんだことの要点を整理する。授業の復習を1時間程度必要とする。
課題に対する フィードバック	レポート提出と課題評価を行う。
評価方法・基準	定期試験80% レポート20%
テキスト	井堀利宏著「図解 大学4年間の経済学が10時間でざっと学べる」2024年、KADOKAWA、 1,018円
参考書	特になし
備考	特になし